

SAMURAI JAPON2016

開催中止について

昨年2015年のSAMURAI JAPON開催中世界を震撼させた
2015年11月13日のパリで銃撃および爆発が同時多発的に発生し、
死者130人、負傷者300人以上を生んだIS戦闘員による同時テロ
事件に遭遇しましたが無事全員帰国しました。

2016年度SAMURAI JAPON開催に向けフランス国内警備
等状況を調査、現地にも出向き開催実施を検討した結果
開催は、大丈夫と判断しこれまで11月開催に向け準備を進めて参り
ましたが、昨年11月発生のパリ同時多発テロ事件から8か月経過後、
不安は感じておりましたが、7月に入り下記テロ事件がたてつづけに
発生。

- ・7月14日夜ニースで80人が死亡100人以上が負傷する無差別テロ事件。
- ・7月18日ドイツ南部ビュルツブルグ近郊の列車内で斧を振り回して5人がけがをするテロ事件。
- ・7月22日ドイツミュンヘンで9人が死亡35人が負傷するテロ事件。

- ・ 7月24日夜、ドイツ南部アンスバッハ市の2500人集まった音楽祭を狙った自爆テロ事件。

- ・ 7月26日フランス北部ルーアン近郊サンテティエンヌ・ドゥ・ルブレ教会人質テロ事件が発生しました。フランスではニースの無差別事件の後、7月14日大統領がフランス全土に非常事態宣言令を3か月延長すると発表しました。

日本の外務省からは、欧州各国においては、記念日・祝祭日等の行事をはじめとして、大規模な文化・観光イベント、試合やコンサートを開催している競技場など、不特定多数の人が集まるイベントは、テロ等の標的となることが懸念され、欧州における記念日や各種イベントを狙ったテロ等に対する注意喚起が発表されております。

参加者からは、一連のテロなどで不安視する声上がり、職場ではフランス文化交流に参加のため休暇願も海外渡航が当面全面禁止で許可が下りない。またご参加者のご両親から参加に不安や反対等の意見が出ている現状を聞き緊急に、7月21日役員会を開き、話し合った結果、これ以上のテロ事件が発生しないとの認識で条件付き開催することを決定しましたが、7月24日夜、ドイツ南部アンスバッハ市の2500人集まった音楽祭を狙った自爆テロ事件、

7月26日フランス北部ルーアン近郊サンティエヌ・ドゥ・ルブレ教会人質テロ事件が発生しました。

ISがイベントを狙った無差別テロを計画している状況にフランスで行う文化交流イベントを開催する環境が非常に厳しい中、再度最終決定を協議する役員会を開き、最近の現状報告を協議した結果、12年間続けてまいりましたSAMURAI JAPONを今回は、中止すると決定致しました。

関係者の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しますがISがテロの標的としている大規模な文化・観光イベント・試合やコンサートを開催している競技場など、不特定多数の人が集まるイベントへの無差別テロを計画している等、刻々と変化する予測できない社会情勢に中止という重い決断をした事をお許し頂けます様、宜しくお願い致します。

2016年7月29日

SAMURAI JAPON 2016

実行委員長 小林正治

事務局長 一條純子